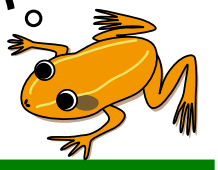
# 集排施設の機能強化や改築更新には JARUS-14R型を含めてご検討ください。コスト縮減につながります!!



## ● 従来の処理方式のまま改築更新をお考えの場合（例えばJARUS-3型から3型）

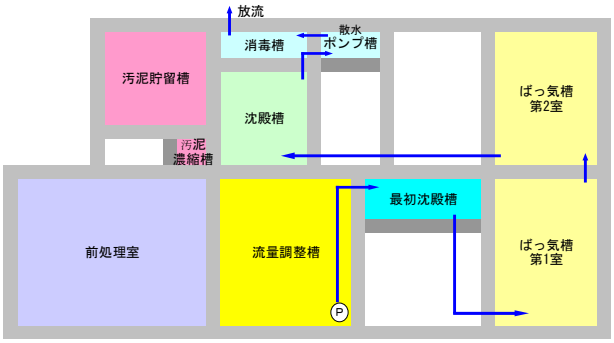
・ 14R型は、既存の処理施設の水槽や建屋をそのまま活用できるとともに、機械設備の小型化・高性能化などにより、従来の処理方式で改築するよりも、**改築更新コストが2割程度縮減**できます（パンフレットの試算結果をご覧ください。）。

・ 14R型は、硫化水素がほとんど発生しないことから、コンクリートの防食工事など定期的な**維持補修コストを大幅に縮減**できます（なお、14R型では処理水質向上のため汚泥量は増えます。）。

・ 14R型に改築更新する場合、約1．2倍の人口増に対応可能となる場合があります。また、利用しない処理水槽を活用し、一部の水槽を増設することにより更なる人口増への対応が可能となり、また、隣接する処理区を管路接続により統合することで、処理施設の集約も可能となるなど**中期的な維持管理コストの縮減**にもつながります。

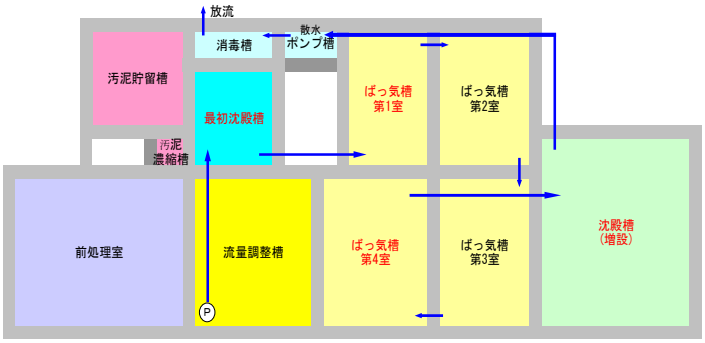
●3型から14R型への改築レイアウトイメージ
(水槽は増設せず、既存の水槽を有効活用した場合)

処理能力は1．2倍




(沈殿槽を増設し、空水槽をばっ気槽に活用した場合)

処理能力は1．6倍

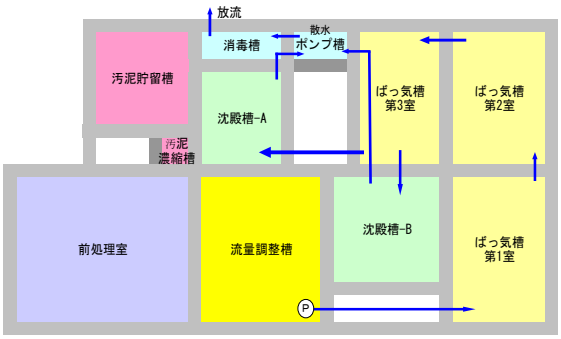



## ● 新しい処理方式での改築更新をお考えの場合（例えばJARUS-3型から14R型）

・ 14R型は14G型より処理水槽数が減り、機器類も減るため**改築更新コストの縮減**につながります。

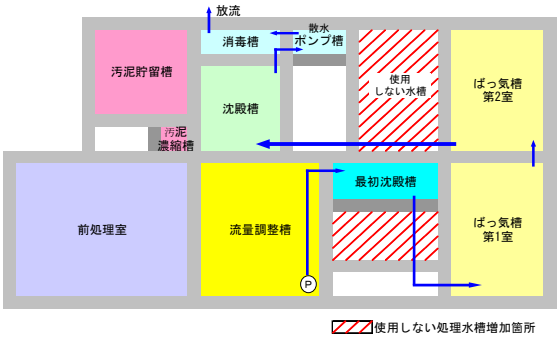
・ 沈殿槽の余剰汚泥を最初沈殿槽に送ることで汚泥の濃縮度が向上し、汚泥搬出量が減るため、**汚泥処理コストの縮減**につながります。

●3型から14G型への改築レイアウトイメージ




使用しない処理水槽が増加

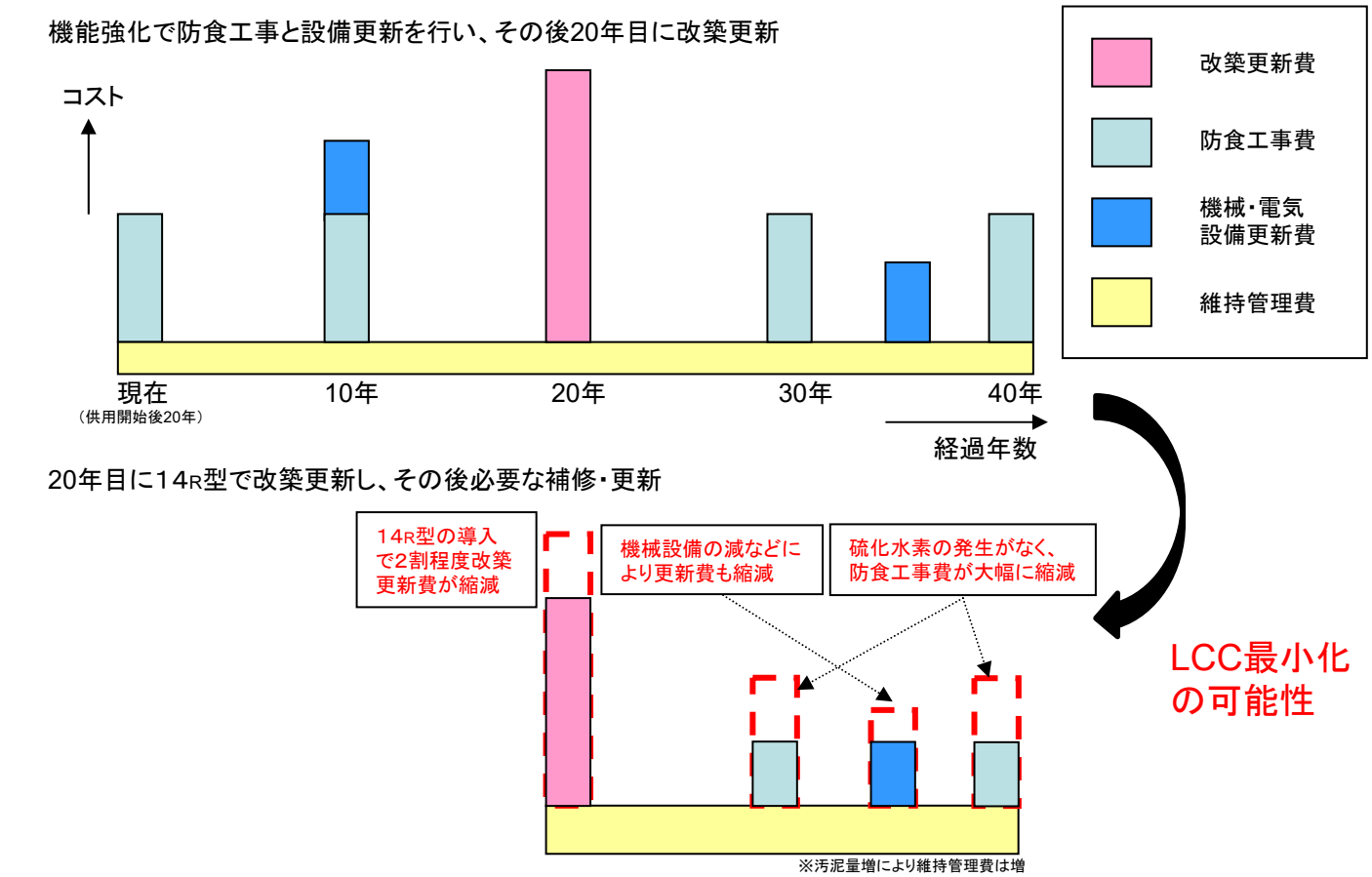
●3型から14R型への改築レイアウトイメージ



## ● 老朽化した設備の更新や水槽の防食工事のみの機能強化をお考えの場合

・ 14R型は、改築更新コストや維持管理コストが縮減されることから、今後の改築更新コストや維持管理コストを改めて検討する際に、14R型を導入することで、**ライフサイクルコスト（LCC）が縮減**される場合があります。

●ライフサイクルコスト（LCC）のイメージ




## JARUSでは、機能強化や改築更新を技術面でサポートします。

| | | |
|---|---|---|
| ・処理機能の確認<br>・施設の問題箇所の調査<br>・改築の要否の判断 | → | **維持管理診断業務**<br>（担当：開発普及班） |
| ・既存施設能力の検討<br>・処理方式の提案<br>・経済性の検討 | → | **機能強化対策検討業務**<br>（担当：設計審査班） |
| ・実施設計内容の確認<br>・構造や仕様の適合性の確認<br>・適合証の発行 | → | **適合審査業務**<br>（担当：設計審査班） |

JARUS
Think Globally, Act Locally.


一般社団法人　地域環境資源センター

〒105－0004　東京都港区新橋5丁目34番4号

TEL.03－3432－6282/6284　FAX.03－3432－0743

http://www.jarus.or.jp　mail:soudan@jarus.or.jp


2015.9